



イェナプラン 的教育について

インクルーシブ教育と共にイェナプラン的教育が有意義と考える。富山市で導入の検討をすべきと思うが見解を問う。(2022年12月)

イェナプラン的教育からは、自己肯定感が生まれ、自分に自信を持つこと、仲間と達成する喜びを得ること、いじめや不登校の減少にもつながると感じ導入の検討を求めました。

子どもたちの主体性や協調性の獲得といったイェナプラン教育の理念やエッセンスは本市が目指す子供の育成像に合致するところがあり、その効果も大きいのではないかと期待を込めて注視しています。市教育委員会といたしましては、今後、本場オランダのイェナプラン教育を参考に、本市の学校教育に即したイェナプラン的教育カリキュラムを研究するなど、モデル事業としての実施を念頭に準備を進めてまいりたいと考えております。(宮口教育長)

みどりの食料システム戦略

有機農業

および食育について

本市で有機農業に取り組みやすい環境整備の推進およびオーガニックビレッジ宣言に向けた見解を問う。(2022年12月)

有機農業は生物多様性の保全や地球温暖化防止等に寄与する有意義な栽培方法です。一方で、有機農業を取り組むための課題もあります。本市としては、環境整備と技術開発の両方が重要と考えており、県や関係団体と連携し、取り組みやすい環境づくりに努めてまいりたいと考えています。(金山農林水産部長)

令和5年度において、オーガニックビレッジ宣言に向けた予算が確保されました!

食は私たちの身体を作る源であり、基本となります。「幸せ日本一とやま」に通じる食育全般に関して市長の考えを問う。

食育は生きる上での基本であり、知育、徳育および体育の基礎となるべきものと位置づけられ、健全な食生活を実践することができる人間を育てるものと考えており、引き続き食育に関する様々な施策を積極的に推進してまいりたいと考えております。(藤井市長)

少子化対策 について

出会うの機会の創出など、結婚に関する支援が必要と考えるが見解を問う。(2023年3月)

少子化対策が叫ばれているものの実行力のある政策が見えてこない現実がある。まずは出会うの機会の創出、世代に応じた金融教育の開始、若い世代の雇用の安定化、多子世帯への支援強化など多方面からのアプローチが必要と考え質問しました。

県で、結婚を希望する方への出会うの場を提供するため平成26年に設立された、とやまマリッジサポートセンターにおいて、お見合いの調整、交際のフォローなどを行っておられ、市としては、この事業を「広報とやま」で掲載するほか、リーフレットやポスターの配置、出張登録会の案内など周知してきたところです。こうしたなか、本年独身男女の出会いを支援することを目的として、富山西婚活サポーター連絡協議会が発足されました。令和5年度予算案の特別枠である部局主導型裁量枠において、開催費用の助成や「広報とやま」への掲載など支援したいと考えております。(大沢市民生活部長)

畜産業支援 について

畜産業の持続的維持・発展のため、今後の本市の支援の在り方について問う。(2023年3月)

畜産業は物価高騰により生産コストの上昇が著しく、一旦廃業すると再開は厳しい。輸入が当たり前でなくなった今、食料の安定供給を図るうえでも国内での畜産業を維持することは重要との考えから質問に至りました。

これまで国の補助制度も活用し、①畜産経営の規模拡大に向けた施設整備、②省力化に向けた高性能畜産用機械の導入やICTを活用した牛の行動観察システムの実証事業、③耕種農家と連携した地域資源循環型農業に取り組む畜産農家への機械の導入④国産飼料生産拡大に向けた牛が好む糖分が高い稲の新規作付け実証事業などを支援。令和5年度には、牛乳の消費拡大を目的とした事業も計画、本市の牛乳のPRに併せ、畜産業の意義などの醸成を図ってまいりたいと考えております。(金山農林水産部長)

金融教育 について

多くのご夫婦の子どもを設けない理由のダントツが「子育てにお金がかかるから」。また、コロナも拍車をかけ生活保護世帯が急増するなど、このままでは自治体が破産しかねない。諸外国並みに、子供の頃から、また大人世代にも「金融教育」をすべきとの思いで質問をしました。



北朝鮮による 日本人拉致問題 について

北朝鮮による拉致問題は、政府が最重要課題とはいうものの、なかなか解決に進まない。ご家族の高齢化は進んでおりご逝去される方も増えてしまった。生きて再会を果たしていただくために自治体は何をすべきか、市民への啓発等、真剣に取り組むべきとの思いで質問しました。

議会において導入の検討を質問した下記案件は、新規事業として採択されています。市民の皆様からの声によるものもあり、引き続き皆様からの声をお待ちしています。

- ◆市立保育所初の「医療的ケア児」受入開始(R4年度)
- ◆市管理公園初のインクルーシブ遊具の常設設置(城川原公園)(R4年度)
- ◆「立山あおく特等席」の追加発表(R4年度)
- ◆「イェナプラン的教育」導入への調査研究費予算化(R5年度)
- ◆有機栽培・オーガニックビレッジ宣言に向け事業化(R5年度)
- ◆牛乳消費拡大推進事業予算化(令和5年度)
- ◆地域づくり推進支援事業(出会うの機会創出)予算化・部局主導型裁量枠にて(令和5年度)

プロフィール

1965年5月5日 芝園町にて生まれる

- 紅葉ヶ丘幼稚園 卒園
- 富山市立安野屋小学校 卒業
- 富山市立芝園中学校 卒業
- 富山県立富山東高等学校 普通科 卒業
- 国家公務員 金沢国税局採用 税務大学校 東京研修所・名古屋研修所 金沢国税局管内税務署勤務
- 税理士事務所勤務
- WEBコンサルタント

令和5年3月富山市議会 一般質問



富山市ファミリーパーク 2022年10月9日 キリンの赤ちゃん命名式「マリン」